

庁舎建設に関する市民説明会 質疑応答

・北地区コミュニティセンター

No.	ご意見など	市の考え方
1	<p>建設場所は、公民館前に決定したのか。</p> <p>個人的には、中央小跡地がまちなかにも近く、敷地面積も広い ため、建設地に適していると考えますが、建設地の決定はどのよう に行ったのか。</p>	<p>建設位置については、平成29年5月に策定した「砂川市庁舎建設 基本構想」において、公民館前に決定している。決定の経過とし て、市民委員で構成される庁舎建設検討審議会において、「防災 性」「市民の利便性」「地域の活性化」「事業の経済性」などのさま ざまな条件から比較検討し、候補地の中で最も適している建設位置 を公民館前としたところである。</p>
2	<p>庁舎整備基金（積立金）について、いつから積立てし、どのような 資金が積立てられているのか。</p>	<p>基金の積立てについては、平成28年度に財政調整基金（年度ごと の剰余金の一部）から6億円を積み立てている。さらに平成29・ 30年度に2億円ずつ各年度の剰余金から積み立て、建設工事が始 まるまでに10億円になる計画としている。</p>
3	<p>庁舎建設の工事業者に関しては、どのように決定していくのか。ま た、入札に関してよく問題になっている事例を耳にするので、気を つけながら実施してほしい。</p>	<p>建設工事は、平成31年7月頃から着手する予定となっているが、 現在、入札方式や参入業者の条件などについては決まっていない。 ご意見のとおり、砂川市の一大事業で多額な事業費となるため、問 題にならないよう注意しながら進めていきたい。</p>

・南地区コミュニティセンター（質疑応答なし）

・地域交流センターゆう

No.	ご意見など	市の考え方
1	議場を上層階に配置すると説明があったが、現庁舎の議場は2階に議場、3階に傍聴席と2階層の形式になっており、同様の形式にすると広い面積が必要になるので、階層をまたがない形式にしてはどうか。	議場については、最上階に配置することとしており、1層式（複数階にまたがない形式）で整備しようと考えている。なお、議場は、傍聴席の部分が一段高くなり、他の階よりも天井を高くする必要があるため、最上階に配置することとしている。
2	水害対策のため、盛り土をして地盤を1.5m高くしているが、水害時の周りの道路が冠水すると庁舎に出入りできないので、道路もかさ上げする必要があるのではないか。	内水氾濫程度の水害時に庁舎が浸水しないように、庁舎をかき上げた敷地に建設することとしている。また、災害対策活動については、周りの道路が冠水した状態でも庁舎に出入りできるよう、西6条通りの高い位置（1.5m程度）に計画地への接続通路をつくり、災害対策活動を継続できるよう整備していくことを考えている。
3	南側敷地の地盤を1.5m上げると、公民館敷地と同じ高さになるのか。	公民館前敷地の地盤高に合わせる形で盛り土をすることを考えている。
4	水害レベル2の場合は、新庁舎の何階まで水がつくのか？また、庁舎が浸水した場合の災害対策として、近くの堤防を利用し、緊急時の通路や駐車場などを整備する必要があるのではないか。	水害レベル2の浸水想定水位は5m程度で石狩川の堤防が決壊した場合に発生すると想定しており、新庁舎の2階まで浸水することがないと考えている。水害レベル2の場合、浸水想定区域では、災害対策活動が行えないため、災害対策本部を総合体育館などの高い位置にある他の公共施設に移転することを考えている。
5	現庁舎の跡地の使い方はどのように考えているのか。	新庁舎へ引越し後、現庁舎を取り壊し、駐車場として整備することを考えている。
6	案内サインの配色など、目の不自由な方にも配慮したつくりしてほしい。	ユニバーサルデザインに配慮したつくりを積極的に取り入れていきたい。
7	他の市町村を見ると分庁舎など効率の悪いつくりをしているところが目に付くが、砂川市の場合、現庁舎の北側にある分庁舎については、新庁舎に集約するのか。	市役所北側の分庁舎については、現在、北海道の出先機関である空知総合振興局森林室の砂川事務所として使用している。砂川市の行政機能として分庁舎を使用していないため、新庁舎への集約は考えていない。